

【主な意見】

◎佐賀市スポーツ推進計画素案について

(委員)

⑨多様な「する」スポーツの環境整備に「利用率の低いところの利用促進を図るための」や「夜間でも安心してウォーキング等ができる」など、何かそういう文言がちょっとでも入ると、何か整備の方向性が見えたりするのかなあと感じます。

(委員)

具体的取組のアーバンスポーツというところで、これはアーバンスポーツを活用したまちの賑わいということでは何かイベントとか大会とかをされるということなのでしょう。あと、子どもたちがこういうのを取り組むためにこういうイベントをされるということになると思いますが、実際、どこにスケートボード場をつくるとか、ただ子どもたちが日々、遊びの中でそういうのに関わられるのが一番いいのかなと思いましたが、実際公園でできるかというところ、佐賀市の駐車場もスケートボード禁止とか、どこでも禁止と書かれていると思いますので、実際、遊びの中でこういうのをすると言ったらどこを活用するのが一番いいのかなあと考えましたが、公園を半分に分けるとか、そういうのができるのが行政かなと思います。

(事務局)

アーバンスポーツを活用したまちの賑わいづくりということに対しては、先ほど申しましたとおり、4年ほど前からアーバンスポーツを取り入れた街なかのイベントであるスポテンSAGAでスケートボードとかBMXとか3×3とかを中心に街なかでイベントを行っており、そこで子どもたちを中心に参加を頂いており盛況を頂いているような状況です。

今年度につきましても11月の下旬に、今までのスポテンSAGAはプロスポーツチームや小さな子どもでも遊べるようなトランポリンとか、ほかのものも併せてのスポーツイベントをしていましたが、今年度につきましては、アーバンスポーツに特化した形で街なかで、同じ部のほかのイベントと抱き合わせた形でイベントをするように考えておりました、イベントにつきましても現在は毎年行っているような状況です。

もう1つ佐賀市が取り組もうと思っているのが、先ほど、委員がおっしゃられたとおり、なかなか公共施設ではスケートボードがどこも禁止という形になっていまして、する場所がありませんので、佐賀市が考えている中では例えば体育施設の一角とかを滑れる場所に整備して若者とか子どもたちができるような場所をまずは整備したいなというふうな形で考えておりました、そこについて今検討を進めているような状況です。

(佐賀市スポーツ政策アドバイザー)

「まちなにぎわい」がワードとしてあったと思いますが、それがスポーツ施設の脇に造るが、果たしてイコールになるのだろうかと話聞いていて、「？」が生まれました。まちの活性化と言ったら、エスプラッツの近くに計画できるところがあるとか、例えば、運動公園とかそういう体育館の横にあるのでは、また意味合いが違ってくると思います。

(事務局)

スポーツ振興課がスポーツの施設を持っているということで、まずはそのスポーツ施設で滑れる場所とは考えていますが、もう1つはまちの活性化ということで、ほかの公園とか、JRの高架下とか、スケートボードがなぜ滑る場所がないかということ、それは音の問題とか、場所の問題というのがいろいろありまして、そういう部分でスポーツ施設以外の部分でも、検討はしているところです。

ほかの他部局とのいろいろ調整が必要ということもありまして、まだ進んでない部分もありますが、スポーツ施設以外のところも検討しながら、スポーツ施設を造ることが1番早いのですが、そういうニーズがあるところもしっかり検討しながら進めていきたいと思っています。

(委員)

施設についての安全性というか、アーバンスポーツの場所がないというところで非常に難しいということとか、そういうのもなんですけど、このスポーツをテレビで見ているのは上手な人ばかりなので、基本的には、倒れたり転んだりしても、自己責任の中で、すんでいるのですが、優勝している金メダル選手だけでも背中を見たら真っ赤になるぐらいの血だったり、火傷だったりしているような状況で、造るからには、そこを管理しないと結果的にどんな人も遊びに来ていいけども、怪我も自己責任ですよっていう、遊園地で例えば、ブランコとか滑り台とかそうとこで怪我しても使用禁止になったり、一体どこが管理しているのっていうのが問題になったりするので、このアーバンスポーツは怪我したときに造った施設に責任が行くのか、自己責任でいくのかそのためにはやっぱりお金をもらってきちっと管理して使ってもらえるのか、その辺を整理しないと、ただ造るだけでは怪我人が出たときに困るのかなと思います。

(委員)

するスポーツの取組の方向性に多様な形の「する」スポーツの推進がありますが、具体的取組には子どもや女性、高齢者、障がい者というのが、これは「形」ではなく対象にしたほうがいいような気がします。

多様な対象（形）のするスポーツの推進みたいなほうが良いかと。形だとその世代とかをくくられるとちょっと何か違和感があります。

先ほどの施設の話ですが、私も施設を利用させていただいております。システムも使っていますが、空調がないところは夏の間はなかなか厳しいところがあって、そういうふうになかなか改修がなされないのであれば、少し利用料を下げてくださいとか考えていただければ助かるなあと思います。

あとは大きいサーキュレーターみたいなのがどこにでも無いので、ああいったものの整備をお願いできればなあと思います。

システムのほうですが、今、施設のことだけになっていますがシステムの利用しにくさっていうのが常々思っており、最終的に紙でやらなきゃいけないところが結構あります。わざわざそこに出向いてお金を払って、A4サイズの紙を数枚書かなきゃいけないところもありますし、最初にパソコンで予約したのに、最後は紙になります。

面倒くさくなって、もうそこは使いたくないとか足が遠のいたり、そういうのもありますので、どうにかできないのかなと思います。

学校の施設も利用させていただいているのですが学校は完全に紙です。
団体の登録をしているので、何とかこのパソコン上でならないのかなと思います。
公民館はやっとパソコン上でできるようになりました。
それをしっかり、こういう文言に入れていくのはどうでしょうか。

(会長)

とにかく夏場の厳しい暑さが続いていますので、本当はエアコンがどこの施設にも配置が1番良いのですが、お金がかかるものですから、なかなか導入できていないというのが現状です。
それと、サーキュレーターも、するスポーツによっては全然使えません。
サーキュレーターの風でボールが移動してしまうから全然使えないというような状況もありますので、なるべく静かな空調（風があまり起こらないような空調）が良く、新しく体育館施設つくるところはそういう施設ですけど、今から入れるところはそういうのはなかなか入れられないです。設置場所とかいろいろあります。
スポーツ協会で、施設を管理していますが、とにかく、今の条件に合うような空調は土台から完全に造り直ししないとできないというような状況のところほとんどです。
順次入れてもらってはいるみたいですけど、今後も熱中症による危険などの懸念がありますので、そこら辺を考慮に入れて少しでも早く整備できるようにお願いします。

(委員)

室内もいいのですが、外でいつもやっているスポーツの暑さ対策というのがとても大事だと思います。外でするスポーツもどうしたら少しでも競技がしやすくなるかとか、そういうのも並行して、検討していただければなというふうに思います。

(委員)

週1回スポーツをすとかということで85%と数値を出してありますが、こういったのはどこからその数値が上がってくるのでしょうか。

(事務局)

指標につきましては、今段階では何かに基づいて持ってこれるような数値がないものですから、市で行っている市民アンケート調査にここの文言を新たに入れてもらい、それで毎年1回、その調査をやっていますので、そこに入れてもらって数値をとりたいと考えており、その部署にお願いをしているような状況です。

(事務局)

本日の審議を経て、事務局において計画案を作成しまして、次回の審議会でお示しさせていただきますと思います。